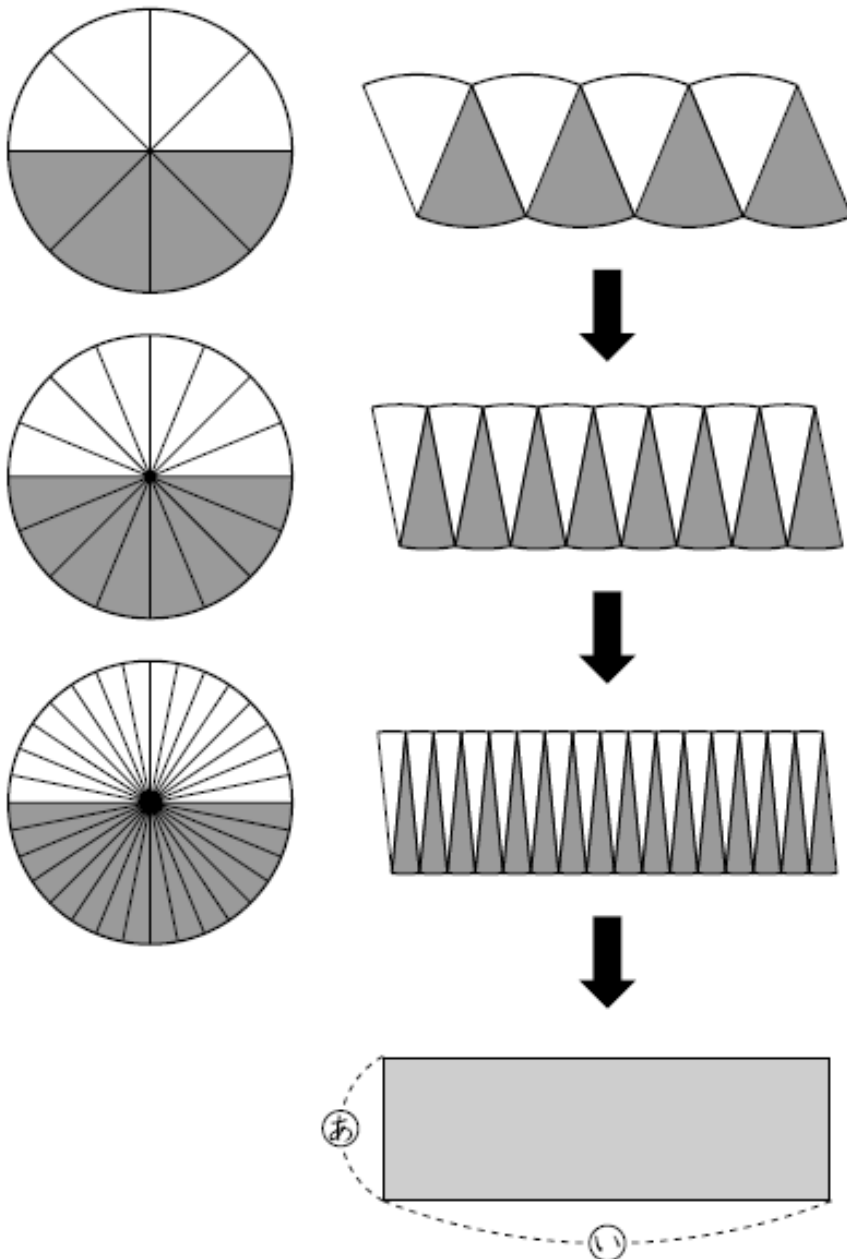


<h1 style="margin: 0;">1 円の面積</h1>				
学年		組		氏名

※H22全国学力調査問題 (1) 国80.1%, 県77.0% (2) 国55.3%, 県51.8%

1 円を、下の図のようにどんどん細かく分けてならべかえると、長方形になると考えられます。

したがって、円の面積はⒶとⒷの積で求めることができます。



(1) ㉞は円のどの部分にあたりますか。下の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ①半径 ②直径 ③円周 ④円周の半分

①

(2) ㉟は円のどの部分にあたりますか。下の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ①半径 ②直径 ③円周 ④円周の半分

④

※ 円周の半分の長さが、ちょうど長方形の横の長さになっています。

2 次の①～⑥にあてはまることばや数を、下の解答らんに書きましょう。

円の面積は、次の公式で求められます。

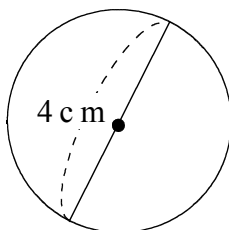
(①) × (②) × (③)

③は、(④) が、(⑤) の何倍になっているかを表す数で、約 (⑥) です。

①	半径	②	半径	③	円周率
④	円周の長さ		⑤	直径の長さ	
⑥	3. 14				

3 次の円の面積を求めましょう。

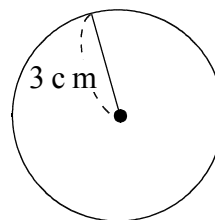
(1)



$$2 \times 2 \times 3.14 = 12.56$$

(12.56) cm^2

(2)



$$3 \times 3 \times 3.14 = 28.26$$

(28.26) cm^2